

Q 低所得世帯の教育に対する支援は

A 消費税増税分を増額している



浅野富男議員

問 4月から消費税が増税となり、これに合わせて^{*}就学援助制度の国基準も支給単価の引き上げが実施された。本町もこれに合わせているのか。

教育長

消費税増額
税分を増額
することとしている。

※就学援助制度とは
経済的理由で教育を受ける権利を差別されず、義務教育が円滑に受けられるように、生活保護制度を利用する要保護者と、それに準じる程度の家庭に対して援助する要保護者への就学援助である。

問 準要保護者の対象となる基準は、どのような目安で設定しているか。

学校教育課長

原則として世帯の前年度総所得額が生活保護基準額の1・3倍以下の世帯を認定している。

問 準要保護者の場合、その財源は使い道を限定しない地方交付税となっていない。実施する援助項目は町の裁量に委ねられている。現在、本町が実施している項目は。

学校教育課長

給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、入学用品費、修学旅行費に対して援助している。

教育長

国から通
知はなかつた。

「集団的自衛権」に対する町長の考えは

問 平成22年から生徒会費、PTA会費も援助の対象となったが。

問

戦後60年あまりにわたり、私たちは戦争による被害にあうことなく生活し

てきた。これは戦争をしな
い、戦力を持たないと
する憲法9条があるからその歴史である。
本町にも自衛隊員は居住している。国民的議論がないまま、他国の戦力部隊と一緒にあって、武器を持つことは避けなければならぬものと思うが、町長の所信を伺う。

町長

国家の存立に直接かわる外交・防衛については、国が決定する事項である。

集団的自衛権の行使については、我が国の防衛の根本に関わる極めて重要な問題であり、国民の代表機関である国会の場で十分に議論されるべき問題である。



総務文教常任委員会で授業参観(県北中学校)

Q 大枝の中尊寺蓮周辺の整備を

A 「歴史まちづくり計画」の中で位置づける

問

本町には知名度の高い観光地

はないが、義経まつりや阿津賀志山防塁がある。そして、大枝地内の防塁や中尊寺蓮などが新たな目玉になると思う。

現在、ボランティアの人が整備をしている。今後これらを町の観光施設として整備しても

よいのでは。

町長

町内の観光施設は単体での存在となっている。現在、策定中の「歴史まちづくり計画」の中で、阿津賀志山防塁などさまざまな歴史文化

資源の新たな価値の再発見や、施設間を点から線・面としての連携

をはかる。

そして、より魅力のある観光施設として位置づけたい。

なお、整備には長い時間が必要となる。

町長

町長就任後、いち早く平泉町を訪問し連携をはかり、平泉の子どもたちの受け入れにつなげた。

また、今春に議会でも交流があった。今後もしっかりと対

問

阿津賀志山防塁や中尊寺蓮などを、世界遺産として有名な平泉町と連携し、広くPRしては。

問

応じていく。

町で観光案内人を育成して

アに21人が登録している。現在、史跡の案内ガイドとしての活動や町の文化財事業への協力をお願いしている。

生涯学習課 町文化財

ボランティア



村上正勝議員



7月19日、長島時子先生の蓮講演会を開催(観月台文化センター)



中尊寺蓮を町外からも見に来ます(西大枝字原前道下地内)